

大地震に見舞われたペルー 被災者に思い寄せて

伊那市で国際交流活動をしている若林敏明さん(52) 同市富良野が、八月の大地震で死傷者が多数出たペルーの被災者の力になりたいと四日から市立図書館で展示会を開く。同国に医師ら計六人を派遣している国際医療支援NGO・AMDA(本部・岡山市)の活動や、同国の山岳写真などを紹介。若林さんは「ペルーも伊那谷と同じように美しい山岳がある国。少しでも多くの人に思いを寄せてほしい」と話している。

ペルー市民防衛庁の発のペルー沖地震で、同傷し、約八万五千棟の家表(九月二十五日現在) 国では五百十九人が死 屋と百五十八校の学校によると、八月十五日 亡、千八百四十四人が負 校舎が全壊した。ペルー



ペルー展「救える命があればどこへでも」のポスターを手にする若林さん

大使館によると、今も約三万八千人が仮設住宅で生活を続けていると

4日から

伊那の若林さん 展示会 医療支援や山岳紹介

の支援活動を知り、「上伊那でも何かできることをしたい」と若林さん。発生直後はマスメディアで大々的に報じられたが「続報が乏しく、その後は安倍首相辞任や自民党総裁選などの話題が国内をにぎわせ、ペルーはどこかに忘れられた印象があった」と話す。

現地で支援しているAMDAから、医療支援活動の写真約二十点を借りた。また、写真家中山秀幸さん(46) 同市美鷲が、六年前から同国を計三回訪れ、延べ半年間滞在した間に撮った遺跡や山岳の写真約二十点を紹介する。

六日午後三時から、青年海外協力隊員の土木技術者として一九八九年から二年間、同国に滞在した楽器制作演奏家北原有さん(46) 同市長谷が、同国の縦笛「ケーナ」を演奏する。

七日まで。 入場無料。

いう。
インターネットなどで
同国の惨状やAMDA